



大里っ子チャレンジ通信

No.21 2017年12月02日(土)

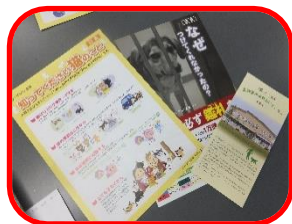
さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

12月2日(土)、第21回大里っ子チャレンジスクールを実施しました。今回も児童の皆さんは、寒さにも負けず元気に登校し、自主学習に一生懸命取り組んでいました。

今回の後半は、さいたま市の出前講座「命の大切さについて～動物愛護の観点から～」というお話を聞く活動でした。

今年度の浦和大里小学校研究テーマは「人権教育」なので、チャレンジスクールでも、「動物の命の大切さ」を学ぶ事を通して、自他を思いやる優しい気持ちを育てたいと願って計画したものです。講師は、「さいたま市動物愛護ふれあいセンター」の獣医師「名塚岳宏(なづか・たけひろ)」先生でした。当日は、10時前に来校し、会場の準備をしてくださっていました。

犬や猫のお話を聞いて「命の大切さ」を学びました。



はじめに、名塚先生から、動物愛護ふれあいセンターの施設のご案内や、犬や猫についてのパンフレットが配られました。お話を聞きながら早速内容を熟読していた児童がいました。

先生のお話は、自己紹介の後、動物愛護ふれあいセンターの仕事についての説明から始まりました。①保護した

犬や猫の譲渡、②市民講座や出前講座、③正しい飼い方講座、④中学生の職場体験の受け入れ、などでした。次に、犬や猫を飼うときのルールについてのお話がありました。犬を飼う時には、野良犬と区別するため登録が必要で、登録証(鑑札)を犬につけておかないと最高20万円の罰金となってしまう法律があること、狂犬病の予防注射をしなければならない

講師の「名塚岳宏」先生。講座の終了後に児童の皆さんに感想を書いてもらいました。「話し方がとてもやさしく心に残った。」「わかりやすかった。」などの印象が書かれていました。



無責任なえさやりは、僕たちを不幸にするんだよ!



こと、日本では狂犬病が無くなったが、特に中国やインドなどを旅行する場合には犬にかまれないように気を付けることなどを知りました。猫については、飼い主のわからない猫がほとんどで、雑種が多い事、野良猫の子どもが増えていること、その理由は人による「えさやり」があるからということ、そして、それは不幸な命を増やすこと、「殺処分ゼロ」ということが言われているが、実現することはとても難しく、大切なことは、センターに入ってくる野良猫を減らすことを考えなければならないこと、そのために、「無責任なえさやり」をやめることなどのお話がありました。

最

後に、名塚先生から「一番考えて欲しいこと」についてお話がありました。それは、犬や猫の「安楽死」の問題でした。「安楽死」＝「苦痛を与えないで殺すこと」・・・その方法は、ガスや麻酔薬の注射によるものだそうです。年間に犬は1万頭、猫は4万5千頭も処分されているそうですから本当に驚きました。

「殺処分」を考える！



殺処分のお話を聴く児童の皆さんの真剣な表情です。いつまでも「命の大切さ」を忘れないでね！

猫の場合は野良猫が多いということでしたが、犬の場合には、迷子の犬が一番多いそうです。センターでは、保護できる犬や猫の数が決まっています。犬は20頭、猫は60頭なので、それ以上は殺処分になってしまうようです。

「殺処分＝安楽死処分」をするのは、引き取り手がいない場合だけでなく、交通事故などで苦しんでいる場合や、なおらない病気の場合などの場合、また、凶暴な犬や猫などの場合などもあるそうです。児童の皆さんだけでなく、当日来校して下さった大人の皆さんもとても真剣な表情で名塚先生のお話に聞き入っていました。児童の皆さんには、命の大切さを心に刻むのと同時に、家族や友だちなど、自分の周りの人たちを大切にすることになって欲しいですね。



みんなに感想を書いてもらったのだニャー。



2年生女子

動物愛護ふれあいセンターでは、いろいろな条件で入ってきている犬・猫がいて、安楽死していることを知って残念だなあと感じました。

3年生女子

安楽死はなんで「楽」って文字が入っているのかわからなかったけど、ビデオとお話を聴いて訳がわかった。名札を付けていないだけで罰金もとられるし、大事な犬が殺されることもあるので、犬を飼っていて付けていない人がいたら教えてあげます。

野良猫の子猫は死ぬことが多いと聞いてびっくりしました。今までずっと猫の子どもは5～6匹きだと思っていたので、何十匹も生まれると聞いてもっとびっくりしました。

5年生女子

今回、動物の命の大切さについて詳しく学ぶことが出来ました。犬や猫が、ふれあいセンターに入れられる理由や、殺処分されてしまうことなど初めて知ることが多かったので、教えてもらうことが出来てよかったです。ありがとうございました。

私は、犬を飼っていません。でも、もし、飼う時には、いろいろなことに注意しないといけない事を知れてよかったです。

児童の皆さんは誰もが素晴らしい感想を書いてくれました。紙面の都合で全員分を載せられなくてごめんなさいね。

お詫びと訂正

次回の開催案内のプリントで、次々回（第23回）の予定を1月16日（木）と書いていましたが、12月16日（土）の誤りでした。お詫びして訂正します。

次回は12月7日（木）、次々回が12月16日（土）、どちらも「書道（書初め）」をやります。

今号の標題のイラストは、「葉牡丹（ハボタン）」。重なり合った美しい葉を「ボタン」に見立てて名付けられたそうです。花言葉はいくつかありますが、それらの一つは「物事に動じない」です。いつも堂々として生きたいものですね。